

【令和5年度生ごみ処理機器モニターレポート Vol.28】

生ごみ処理機器を使用したモニターの声伝えていきます。



こちらの方は、2人家族のモニターです。

2人暮らしのため発生する生ごみの量が少なく、使用に係るランニングコストとの兼ね合いから、生ごみが一定程度溜まるまで処理機にかけられないところが難点と感じているそうです。

電気生ごみ処理機を使用するにあたり、玉ねぎの皮などの処理機にかけなくても良い生ごみを事前に分けるため、別のゴミ袋を台所に設置していることから、水回りが雑然としているそうです。

また、生ごみ処理機のバスケットが大きく、シンク内のスペースの多くを占めていることから、台所仕事の邪魔に感じることもあるそうです。

可燃ごみの排出状況については、処理機を使う前は、生ごみ用として6ℓを週に2回と、20ℓを週に1回排出していたが、現在は週に20ℓで1回だけの排出にまで減量できているそうです。

【令和5年度生ごみ処理機器モニター事業について】

令和4年度に続き、令和5年度も釧路市では生ごみ処理機器の新たなモニターを募集し、使用した感想を発信していくことで生ごみの減容・減量化への意識を醸成していく取り組みを行っています。

皆さんも、モニターの声を参考にして生ごみの減容・減量化に取り組んでみませんか？

※掲載されている内容は、あくまでも生ごみ処理機器を使用した感想であり、機器の性能評価ではありません。

【問合せ先】

釧路市市民環境部環境事業課

TEL 0154-31-4551 FAX 0154-24-4145

ka-haikibutu@city.kushiro.lg.jp